

<燃料電池特性の計測>

[SPECTRUM Instrumentation \(spectrum-instrumentation.com\)](http://SPECTRUM Instrumentation (spectrum-instrumentation.com))

概要

- ・ 水素燃料電池は、自動車/大型トラック/バスなどに使用され、水蒸気しか排出しないため、脱炭素に多いに貢献します。
- ・ 燃料電池のコンピュータモデルとの違い、実際のパラメータがどのように性能に影響するかは、秒オーダーではなく、高速でのデータ収集が必要です。
- ・ 特にカソード経路に沿った動的な挙動を正確に測定する必要があります。
- ・ 上記の条件に最適な測定器（デジタイザ）として、M2p. 5913-x4を選択、実際には、3台のカードを連携し20チャンネルの測定を行っている例があります。

<参考>

M2p. 5913-x4を複数台内蔵した [digitizerNETBOX](#)



DN6. 591-24

24チャンネル
16ビット

最大 5 MS/s

帯域 2.5 MHz

LXIインターフェース

システム構成



M2p. 5913-x4

PCIe Gen1 x4 I/F

8チャンネルx3台

(複数枚の同期測定可能)

16ビット

最大 5 MS/s

帯域 2.5 MHz

データメモリ 512 MS



SBench6-Pro

測定条件の設定

収集データの表示

収集データの格納

演算 (FFT、フィルタ等)

Export機能 (MATLAB等)

主な解析例

